

## DOCOMOMO について

ドコモモ (DOCOMOMO=Documentation and Conservation of buildings, sites and neighborhoods of the Modern Movement)  
モダン・ムーブメントにかかわる建物と環境形成の記録調査および保存のための国際組織

ドコモモは、20世紀の建築における重要な潮流であったモダン・ムーブメントの歴史的・文化的重要性を認識し、その成果を記録するとともに、それにかかわる現存建物・環境の保存を訴えるために、オランダのフーベルト・ヤン・ヘンケット (当時アイントハーヘン工科大学教授、現デルフト工科大学教授、初代会長) の提唱により、1988年に設立された国際学術組織で、近代建築史研究者だけでなく、建築家、建築エンジニア、都市計画家、行政関係者などが参加している。

1990年にオランダのアイントハーヘン (アイントハーヘン工科大学) で第1回の総会 (国際会議) が開催され、その後発展を続け、2014年現在、64支部 (Working Party) がある。

- 第1回 (1990) オランダ アイントハーヘン (アイントハーヘン工科大学)
- 第2回 (1992) ドイツ デッサウ (パウハウス)
- 第3回 (1994) スペイン バルセロナ (ミース財団)
- 第4回 (1996) スロバキア プラスティラバ (スロバキア国立博物館) スリアック (スリアックスバ)
- 第5回 (1998) スウェーデン スtockホルム (ストックホルム建築博物館) スカンジナビア諸国5カ国の共催
- 第6回 (2000) ブラジル ブラジリア (ブラジリア大学)
- 第7回 (2002) フランス パリ (ユネスコ本部)
- 第8回 (2004) アメリカ ニューヨーク (コロンビア大学)
- 第9回 (2006) トルコ イスタンブール (イスタンブール工科大学) アンカラ (中東アンカラ工科大学)
- 第10回 (2008) オランダ ロッテルダム (ファン・ネレ工場) 記念大会
- 第11回 (2010) メキシコ メキシコシティ (メキシコ自治大学)
- 第12回 (2012) フィンランド ヘルシンキ (オタニエミ文化会館)
- 第13回 (2014) 韓国 ソウル (ソウル国立現代美術館) 初めてのアジア開催

ドコモモ本部 (DOCOMOMO International) は当初オランダ (アイントハーヘン、デルフト) に設置され、2002年からフランス (パリ) に移ったが、2010年からスペイン (バルセロナ) のミース・ファン・デル・ローエ財団に、そして2014年3月からはポルトガル(リスボン)のリスボン工科大学に移った。会長には3代目としてアナ・トストエス (Ana Tostoes)、リスボン工科大学教授が就任している。第1回総会では、ドコモモの理念や活動についての宣言が採択され、以下のような活動目的が確認された。

1. モダン・ムーブメントの建築遺産の重要性を、一般市民、行政当局、専門家、教育機関に広めること。
2. モダン・ムーブメントの建築作品の調査を進め、学術的価値を位置づけること。
3. モダン・ムーブメントの貴重な建築作品の破壊と破損に反対すること。
4. 資料調査と保存のために基金を誘致すること。
5. モダン・ムーブメントに関する見識を一般に広め、探求すること。



第12回国際会議 (フィンランド)



日土小学校 / 松村正恒 / 1958年

## DOCOMOMO Japan について

ドコモモの日本支部 (DOCOMOMO Japan) は、1998年にDOCOMOMO本部からの支部設立の要請を受ける形で、日本建築学会の建築歴史・意匠委員会下のドコモモ対応ワーキンググループを母体に組織を整え、20件の選定作業を開始した。2000年のブラジリア総会でDOCOMOMOの支部として正式に承認された。日本支部は2000年に神奈川県立近代美術館 (鎌倉館) を会場に、選定したDOCOMOMO20選についての展覧会やシンポジウムを開催し、ドコモモの主要任務を果たすべく、2003年9月には20選に80件を加えたDOCOMOMO100選を行い、その成果を2005年3月から5月にかけて汐留ミュージアムで展覧会として発表した。また、合わせて、建築物の見学会や全国各地での展覧会、研究会集ならびにセミナーやシンポジウムを開催している。

2004年度からは支部となったDOCOMOMO KoreaやDOCOMOMO UKとの交流を行なうなど、積極的な活動を続けている。特に2008年と2010年にはそれぞれ京都 (国立京都国際会館) と東京 (東京都中央卸売市場築地市場、東京芸術大学) で技術に関する国際セミナーを開催し、2011年9月にはUIA東京大会において、DOCOMOMO Japan 150未来への遺産展を開催し、国内外から多くの研究者や建築家が参加し、その活動は国際的になりつつある。

## DOCOMOMO Japan Membership

近代建築に興味と情熱をお持ちの方なら、誰でも参加できる国際組織がDOCOMOMO Japanです。2000年にブラジリアでの総会で正式に承認されて以来、国際本部との連携のもとで、日本の近代建築の記録・保存・評価・調査など、幅広い活動を行っています。専門家として、学生として、ファンとしての参加など、どのようなかたちでの参加も歓迎します。DOCOMOMO Japanはこれまで日本の近代建築のリストを整備しながら、展覧会、見学会、シンポジウム、研究会、国際交流などを行ってきました。こうして記録されてゆく近代建築のリストは、今後ユネスコの世界文化遺産の登録につながってゆくものと考えられています。こうしたリストを拡充しながら、今後の活動はさらに幅広く、多様に展開していきます。ぜひDOCOMOMO Japanにご入会ください。

### DOCOMOMO Japan 組織

- 代表 松隈洋 (京都工芸繊維大学教授)
- 副代表 山名善之 (東京理科大学教授)
- 幹事長 渡邊研司 (東海大学教授)
- 事務局長 亀井靖子 (日本大学准教授)
- 監事 深尾精一 (首都大学東京名誉教授) 夏目勝也 (夏目建築設計事務所所長)

### 事務局

〒275-8575 千葉県習志野市泉町 1-2-1  
日本大学生産工学部建築工学科 亀井研究室  
Email: docomomojapan@yahoo.co.jp  
web: http://www.docomomojapan.com  
入会希望する方はホームページ上でを行います。  
会員の種類 : 正会員、国際会員、国際学生会員、ドコモモ・フレンズ



選定プレートの贈呈 (香川県庁)



DOCOMOMO 選定プレート

ドコモモは、モダン・ムーブメントやその結果に関する参加各国の多様性を尊重しつつ、2年に1回の総会に合わせたシンポジウム、機関誌である“DOCOMOMO Journal”の年2回の刊行を通じての情報提供、4つの専門分科会ごとの研究・議論、個別の支部が開催するシンポジウムや展覧会の案内などを行なっており、モダン・ムーブメントの成果やその保存の重要性についての啓蒙活動を続けてきた。

これまでの活動で特筆すべきものは、各国に現存するモダン・ムーブメントの好例20件を選定して、2000年に“The Modern Movement in Architecture / Selections from the DOCOMOMO Registers” (edited by D.Sharp & C.Cooke, 010 Publishers) にまとめて出版したことである。そこで作成されたデータは、所定フォーマットに従って形で提出され、オランダの建築博物館 (NAI) が管理し、公開さらなるデータ整備・蒐集に向けて準備が進められている。なお、近代の建築に関するユネスコの世界遺産選定の動きに関連して、ユネスコから協力が依頼されており、その諮問機関であるICOMOSや国際建築家連盟であるUIAとも協力を深めている。

### DOCOMOMO 憲章 (アイントハーヘン宣言)

1. モダン・ムーブメントの重要性を行政関係者、環境形成に関わる専門家、教育組織だけでなく広く一般に認識させること
2. モダン・ムーブメントに関わる建物とそれに関する登録を行うこと。それに関連する図面、写真、公文書、その他の資料などの記録を把握し、整理すること
3. 保存に対する適正な技術や手段の開発と専門知識の伝達を行うこと
4. 重要建築物の取壊しや美的価値喪失の危機に対して警鐘を鳴らすこと
5. 文書調査の実施と保存のための基金の調達を図ること
6. 基本的人権を守り、持続可能な将来を築くためにモダン・ムーブメントに関する理解の促進と発展を図ること
7. 最高度の技術性を有するレベルでの上記の事項の実現を目指すこと



DOCOMOMO 150 選展ポスター



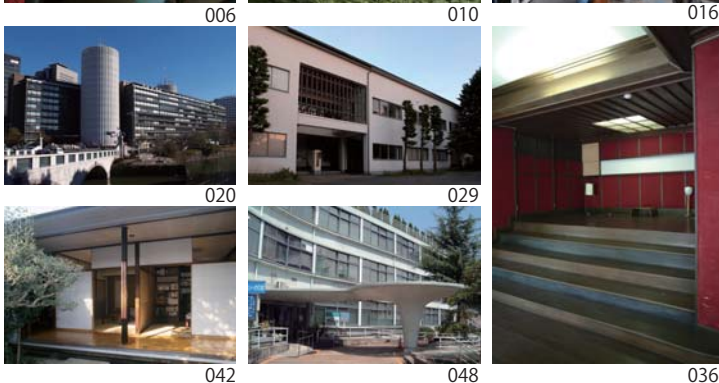
DOCOMOMO Japan 会報



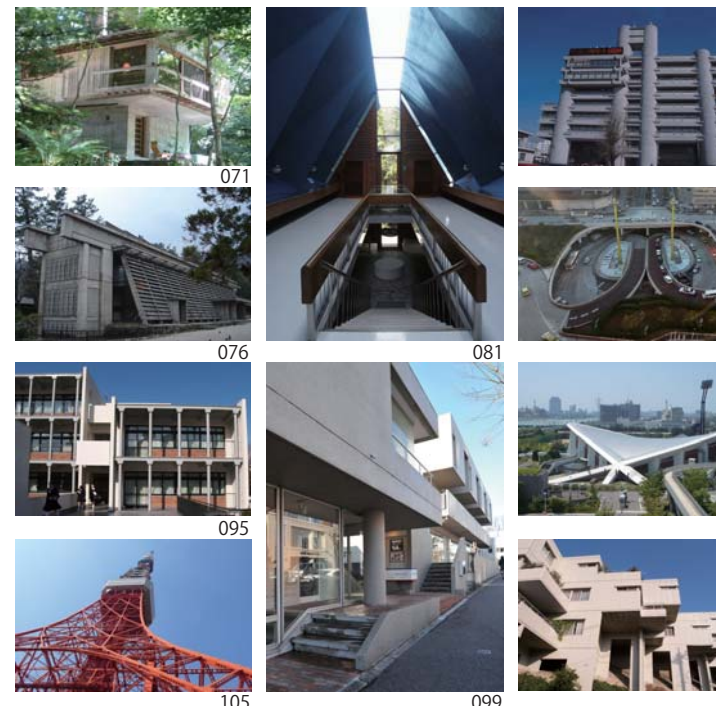
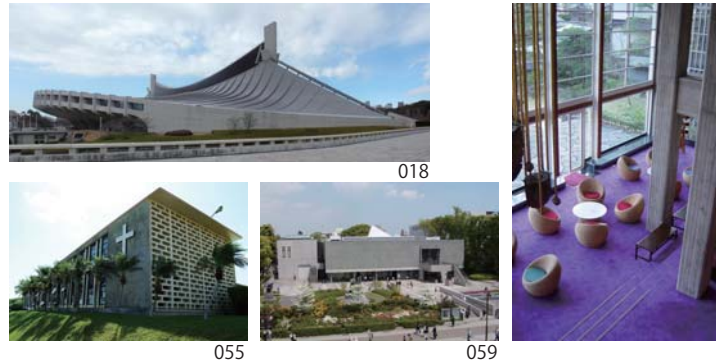
国際文化会館見学会

**DOCOMOMO Japan 184 選リスト** **名称 / 設計者 / 竣工年 / 所在地**

001. 一連の同潤会アパートメントハウス / 同潤会 / 1926-34年 / 東京 / 現存せず
002. 住友ビルディング (現・三井住友銀行大阪本店営業部) / 住友合資会社工作部 (長谷部鋭吉・竹腰健造) / 1926年 (第1期) 1930年 (第2期) / 大阪
003. 睦竹居 / 藤井厚二 / 1928年 / 京都
004. 小菅刑務所・管理棟 (現・東京拘置所・管理棟) / 司法省営繕課 (蒲原重雄) / 1929年 / 東京
005. 東京中央郵便局 / 逓信省営繕課 (吉田鉄郎) / 1931年 / 東京 / 2009年一部を残して改築
006. 土浦亀城自邸 / 土浦亀城 / 1935年 / 東京
007. 慶應義塾幼稚舎 / 谷口吉郎 + 曾禰中條建築事務所 / 1937年 / 東京
008. 宇都市民館 (現・宇都市渡邊翁記念会館) / 村野藤吾 / 1937年 / 山口 / 重要文化財
009. 八勝館御幸の間 / 堀口捨己 / 1950年 / 愛知
010. 神奈川県立近代美術館 本館 (現・鎌倉館)・新館 / 坂倉準三 / 1951年 (本館) 1966年 (新館) / 神奈川
011. コアのあるH氏のすまい / 増沢洵 / 1953年 / 東京
012. 神奈川県立図書館・音楽堂 / 前川國男 / 1954年 / 神奈川
013. 秩父セメント第2工場 (現・秩父太平洋セメント株式会社秩父工場) / 谷口吉郎 + 日建設計 / 1956年 (第1期) 1958年 (第2期) / 埼玉
014. 広島ピースセンター (現・広島平和記念資料館および平和記念公園) / 丹下健三 / 1955年 / 広島 / 重要文化財 (平和記念資料館)
015. 日土小学校 / 松村正恒 / 1958年 / 愛媛 / 重要文化財
016. 香川県庁舎 (現・香川県庁舎東館) / 丹下健三 / 1958年 / 香川
017. 群馬音楽センター / アントニン・レーモンド / 1961年 / 群馬
018. 国立屋内総合競技場 (現・国立代々木競技場) / 丹下健三 / 1964年 / 東京
019. 大学セミナー・ハウス / 吉阪隆正 + U研究室 / 1965年 / 東京
020. パレスサイドビル / 日建設計 (林昌二) / 1966年 / 東京
021. 京都西陣電話局 (現・NTT 西日本京都支店西陣別館・京都中央電話局西陣分局) 逓信省営繕課 (岩元禄) / 1921年 / 京都 / 重要文化財
022. 自由学園明日館 / フランク・ロイド・ライト / 1921年 / 東京 / 重要文化財
023. 山邑太左衛門邸 (現・ヨドコウ迎賓館) / フランク・ロイド・ライト / 1924年 / 兵庫 / 重要文化財
024. 本野精吾自邸 (現・本野邸) / 本野精吾 / 1924年 / 京都
025. 辰馬本家酒造白鹿館 / 竹中工務店 (石川純一郎) / 1930年 / 兵庫 / 現存せず
026. 森五商店東京支店 (現・近三ビルディング) / 村野藤吾 / 1931年 / 東京
027. 朝日ビルディング / 竹中工務店 (石川純一郎) / 1931年 / 大阪 / 現存せず
028. 東京女子大学 / アントニン・レーモンド / 1924年 ~ 1938年 / 東京 / 登録文化財
029. 木村産業研究所 / 前川國男 / 1932年 / 青森 / 登録文化財
030. 大丸心斎橋店 / ウィリアム・メレル・ヴォーリズ / 1933年 / 大阪
031. 大阪市営地下鉄御堂筋線 / 大阪市臨時高速鉄道建設部 / 1933年 / 大阪
032. 大阪ガスビルディング (現・大阪ガス本社ビル) / 安井武雄 (増築: 安井建築設計事務所 佐野正一) / 1933年 (1966年増築) / 大阪 / 登録文化財
033. 聖パウロ教会 (現・軽井沢聖パウロ・カトリック教会) / アントニン・レーモンド / 1934年 / 長野
034. 四谷第五小学校 (現・吉本興行東京本部) / 東京市土木局建築課 / 1934年 / 東京
035. 東京市中央卸売築地市場 (現・東京都中央卸売市場築地市場) / 東京市土木局建築課 / 1934年 / 東京
036. 日向別邸 / ブルーノ・タウト / 1936年 / 静岡 / 重要文化財
037. 京都電灯株式会社 (現・関西電力京都支店) / 武田五一 / 1937年 / 京都
038. 原邸 (現・原美術館) / 渡辺仁 / 1938年 / 東京
039. 黒部川第二発電所・ダム / 山口文象 + 日本電力 / 1938年 / 富山

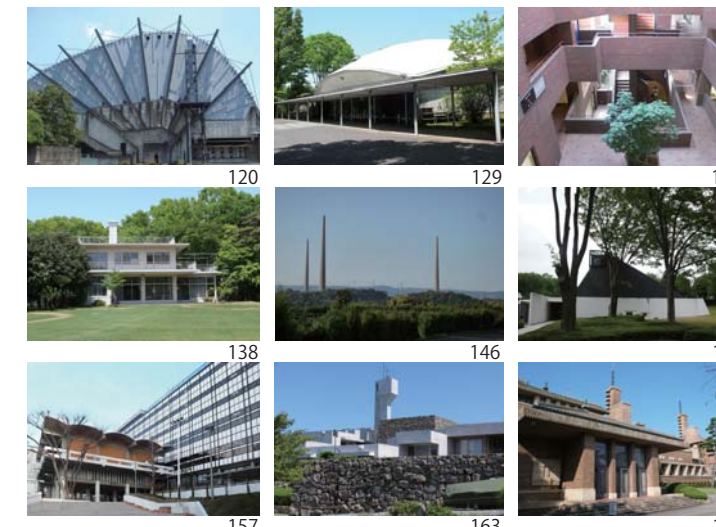


040. 大阪中央郵便局 / 逓信省営繕課 (吉田鉄郎) / 1939年 / 大阪 / 現存せず
041. 吉田五十八邸 / 吉田五十八 / 1944年 / 神奈川
042. 森博士の家 / 清家清 / 1951年 / 東京
043. 日本真珠会館 / 兵庫県建築部営繕課 (光安義光) / 1952年 / 兵庫
044. 日本相互銀行本店 / 前川國男 / 1952年 / 東京 / 現存せず
045. 世界平和記念聖堂 (現・カトリック幟町教会) / 村野藤吾 / 1953年 / 広島 / 重要文化財
046. 図書印刷株式会社原町工場 (現・図書印刷沼津工場) / 丹下健三 / 1954年 / 静岡
047. 国際文化会館 / 坂倉準三 + 前川國男 + 吉村順三 / 1955年 / 東京 / 登録文化財
048. 熊本通信病院 (現・くまもと森都総合病院) / 山田守 / 1956年 / 熊本
049. 浦邸 / 吉阪隆正 + U研究室 / 1956年 / 兵庫 / 登録文化財
050. 福島県教育会館 / ミド同人 / 1956年 / 福島
051. 石津邸 / 池辺陽 / 1957年 / 東京
052. 東京都水道局長沢浄水場 / 山田守 / 1957年 / 神奈川
053. 旭川市庁舎 / 佐藤武夫 / 1958年 / 北海道
054. スカイハウス / 菊竹清訓 / 1958年 / 東京
055. 聖クララ教会 (現・与那原カトリック教会) / 片岡献 / 1958年 / 沖縄
056. 日比谷電電ビル (現・NTT コミュニケーションズ本社ビル) / 日本電信電話公社施設局建築部 (國方秀男) / 1958年 / 東京
057. 日本芸術院会館 / 吉田五十八 / 1958年 / 東京
058. 羽島市庁舎 / 坂倉準三 / 1958年 / 岐阜
059. 国立西洋美術館 / ル・コルビュジエ / 1959年 / 東京 / 重要文化財
060. 都ホテル住水園 (現・ウェスティン都ホテル京都住水園) / 村野藤吾 / 1959年 / 京都
061. 外務省庁舎 / 小坂秀雄 + 建設省営繕局 / 1960年 / 東京
062. 京都会館 / 前川國男 / 1960年 / 京都 / 一部を残して改築中
063. 尾崎記念会館 (現・憲政記念館) / 海老原一郎 / 1960年 / 東京
064. 名古屋大学豊田講堂 / 横文彦 / 1960年 / 愛知 / 登録文化財
065. 千里ニュータウン / 大阪府企業局 / 1970年 / 大阪
066. 大原美術館分館 / 倉敷レイオン営繕部 (浦辺鎮太郎) / 1961年 / 岡山
067. 東京文化会館 / 前川國男 / 1961年 / 東京
068. 明治大学和泉キャンパス第二校舎 / 堀口捨己 / 1960年 / 東京
069. NCRビル (現・日本財団ビル) / 吉村順三 / 1962年 / 東京
070. 長崎市公会堂 / 武基雄 / 1962年 / 長崎
071. 森の中の家 / 吉村順三 / 1962年 / 長野
072. 軽井沢の新スタジオ / アントニン・レーモンド / 1962年 / 長野
073. 日本二十六聖人記念館 聖フィリッポ教会 / 今井兼次 / 1962年 / 長崎
074. 神戸ポートタワー / 日建設計工務 / 1963年 / 兵庫 / 登録文化財
075. 三菱ドリームセンター / 日建設計 (林昌二) / 1962年 / 東京
076. 出雲大社庁の舎 / 菊竹清訓 / 1963年 / 島根
077. 南山大学 / アントニン・レーモンド / 1964年 / 愛知
078. 東光園 / 菊竹清訓 / 1964年 / 鳥取
079. 東京カトリック聖マリア大聖堂 / 丹下健三 / 1964年 / 東京
080. 百十四銀行本店 / 日建設計 / 1966年 / 香川
081. 海のギャラリー / 林雅子 / 1966年 / 高知
082. 大分県立中央図書館 (現・大分市アートプラザ) / 磯崎新 / 1966年 / 大分
083. 国立劇場 / 竹中工務店 (岩本博行) / 1966年 / 東京
084. 白の家 / 篠原一男 / 1966年 / 東京 / 移築
085. ソニービル / 芦原義信 / 1966年 / 東京
086. 塔の家 / 東孝光 / 1966年 / 東京
087. 国立京都国際会館 / 大谷幸夫 / 1966年 / 京都
088. 山梨文化会館 / 丹下健三 / 1966年 / 山梨
089. 寒河江市庁舎 / 黒川紀章 / 1967年 / 山形
090. 札幌の家 - 自邸 - / 上遠野徹 / 1968年 / 北海道
091. 新宿駅西口広場・駐車場 / 坂倉準三 / 1967年 / 東京
092. 親和銀行本店 / 白井晟一 / 1期 1966年 2期 1969年 / 長崎
093. 坂出市人工土地 / 大高正人 / 1968年 / 香川
094. 霞が関ビル / 霞が関ビル建設委員会 (三井不動産 + 山下寿郎設計事務所) / 1968年 / 東京
095. 普連土学園 / 大江宏 / 1968年 / 東京
096. 千葉県立中央図書館 / 大高正人 / 1968年 / 千葉
097. 佐賀県立博物館 / 第一工房 + 内田祥哉 / 1969年 / 佐賀
098. 西宮トラスチヌ修道院 (現・シトー会西宮の聖母修道院) / 村野藤吾 / 1969年 / 兵庫
099. 代官山ヒルサイドテラス第1期 / 横文彦 / 1969年 / 東京
100. セキスイハイム M1 / 大野勝彦 + 積水化学工業 / 1970年 /



101. 甲子園大運動場 (現・阪神甲子園球場) / 野田誠三 + 今林彦太郎 / 1924年 / 兵庫
102. 北海道帝国大学理学部付属厚岸臨海実験所 (現・北海道大学北方生物園フィールド科学センター水圏ステーション厚岸臨海実験所) / 北海道帝国大学営繕課 (篠原淳正 + 岡田鴻記) / 1931年 / 北海道
103. 飯箸邸 (現・ドメイヌ・ドゥ・ミクニ) / 坂倉準三 / 1942年 / 長野 / 移築
104. 作新学院円形体育館 (現・作新学院高等学校円形体育館) / 巴組鉄工所 / 1952年 / 栃木

105. 日本電波塔 (東京タワー) / 日建設計 + 内藤多仲 / 1958年 / 東京 / 登録文化財
106. 上小沢邸 (現・肉匠上小沢邸) / 広瀬謙二 / 1959年 / 東京
107. 明倫学園円形校舎 / 坂本鹿名夫 / 1959年 / 神奈川 / 現存せず
108. 九州工業大学記念講堂および事務棟 / 清家清 / 1960年 / 福岡
109. 大和文華館 / 吉田五十八 / 1961年 / 奈良
110. 新潟市体育館 / 宮川英二 + 加藤渉 / 1961年 / 新潟
111. 駒沢公園体育館・管制塔 / 芦原義信 / 1964年 / 東京
112. 津山文化センター / 川島甲士 / 1965年 / 岡山
113. カトリック桂教会 / ジョージ・ナカシマ / 1965年 / 京都
114. 東京経済大学図書館 / 鬼頭祥 / 1968年 / 東京
115. 桜台コートビレジ / 内井昭蔵 / 1970年 / 神奈川
116. 東京書籍印刷株式会社印刷工場・事務棟 / 西谷健吉 + 山木喜一 / 1936年 / 東京
117. 東京都立日比谷図書館 / 東京都建築局 (高橋武士) / 1957年 / 東京
118. 日本生命日比谷ビル・日生劇場 / 村野藤吾 / 1963年 / 東京
119. 川合健二郎 / 川合健二 / 1966年 / 愛知
120. 都城市民会館 (現・南九州大学) / 菊竹清訓 / 1966年 / 宮崎
121. 那覇市民会館 / 金城俊光 + 金城信吉 / 1967年 / 沖縄
122. 愛知県立芸術大学 / 吉村順三 / 1971年 / 愛知
123. 中銀パゼルタワービル / 黒川紀章 / 1972年 / 東京
124. 反住器 / 毛綱毅曠 / 1972年 / 北海道
125. 住吉の長屋 / 安藤忠雄 / 1976年 / 大阪
126. 検見川無線送信所 / 逓信省営繕課 (吉田鉄郎) / 1926年 / 千葉
127. 鶴巻鶴一郎 (現・栗原邸) / 本野精吾 / 1929年 / 京都 / 登録文化財
128. ライジングサン石油会社共同住宅 (現・フェリス女学院大学 10号館) / アントニン・レーモンド / 1929年 / 神奈川
129. 中央通信学園講堂 (現・NTT 東日本研修センター講堂) / 内田祥哉 / 1958年 / 東京
130. 大多喜町役場 / 今井兼次 / 1958年 / 千葉
131. 東海大学湘南キャンパスと校舎群 / 山田守 / 1962年 / 神奈川
132. 東京大学鹿兒島宇宙空間観測所 (現・内之浦宇宙観測所) / 池辺陽 + 東京大学生産技術研究所 / 1962年 / 鹿兒島
133. 花泉農協会館 (現・JAいわて南花泉支店) / 大高正人 / 1965年 / 岩手
134. 古川市民会館 (現・大崎市民会館) / 武基雄 / 1966年 / 宮城
135. フロム・ファーストビル / 山下和正 / 1975年 / 東京
136. 高津邸 (現・谷邸) / 上野伊三郎 / 1934年 / 兵庫
137. 梅月堂 (現・YT 梅月館) / 山口文象 / 1936年 / 山形
138. 馬場氏烏山別邸 (現・第一生命相模園光風亭) / 吉田鉄郎 / 1937年 / 東京
139. 松井田町役場 (現・松井田町文化財資料室) / 白井晟一 / 1956年 / 群馬
140. 鳴門市庁舎および鳴門市民会館 / 増田友也 / 市庁舎 1961年 1963年 / 徳島
141. 芦屋市民会館 (現・芦屋市民センター) / 坂倉準三建築研究所 (西澤文隆・山崎泰孝) / 1963年 / 兵庫
142. 東京芸術大学 図書館・絵画棟・彫刻棟 / 天野太郎 + 茂木計一郎 + 平島二郎 + 天野吉原設計事務所 / 図書館 1964年 絵画棟 1968年 彫刻棟 1971年 / 東京
143. 武蔵野美術大学アトリエ棟 (現・武蔵野美術大学 4号館) / 芦原義信 / 1964年 / 東京
144. まつかわ・ぼっくす / 宮脇檀 / 第1期 1971年 第2期 1978年 / 東京
145. 幻庵 / 石山修武 (DAM・DAN) / 1975年 / 愛知



146. 佐世保無線電信所 (針尾送信所) 無線塔 1号塔・2号塔・3号塔および通信局舎 (現・佐世保海上保安部針尾送信所) 臨時海軍建築部 (吉田直) / 1922年 / 長崎 / 重要文化財
147. 長者原発電所 / 内藤多仲 / 1939年 / 山形
148. 正面のない家 (H邸) / 坂倉準三建築研究所 (西澤文隆) / 1962年 / 兵庫
149. 第3スカイビル (現・ニュースカイビル) / 渡邊洋治 / 1970年 / 東京
150. 所沢聖地霊園礼拝堂・納骨堂 / 池原義郎 + 早稲田大学池原研究室 / 1973年 / 埼玉
151. 浴風園 (現・社会福祉法人浴風会本館) / 内田祥三 + 土岐達人 / 1926年 / 東京
152. 別府市公会堂 (現・別府市中央公民館) / 吉田鉄郎 / 1928年 / 大分
153. 日本橋野村ビル (現・野村證券日本橋本社ビル) / 安井武雄建築事務所 / 1930年 / 東京
154. 広島通信診療所 (現・広島通信病院旧外来棟被爆資料室) / 逓信省営繕課 (山田守) / 1935年 / 広島
155. 傷痍軍人東京療養所外気小舎 (現・独立行政法人国立病院機構東京病院外気舎記念館) / 傷兵保護院工営課 (浜野規矩雄と推定) / 1939年 / 東京
156. 横須賀海仁会病院 (現・社会福祉法人聖テレジア会総合病院聖ヨゼフ病院) / 石本喜久治 + 石本建築事務所 / 1939年 / 神奈川
157. 法政大学 55年館・58年館 (現・法政大学 55・58年館) / 大江宏研究室 (55年館) 大江宏建築設計事務所 (58年館) / 1955年・58年 / 東京
158. 大阪新歌舞伎座 / 村野・森建築事務所 (村野藤吾) / 1958年 / 大阪 / 現存せず
159. 塩野義製薬研究所 (現・塩野義製薬中央研究所本館) / 坂倉準三建築研究所 (西澤文隆) / 1961年 / 大阪 / 解体予定
160. 大阪府立総合青少年野外活動センター / 坂倉準三建築研究所 (西澤文隆)・大阪府建築部営繕課 / 1964 ~ 79年 / 大阪
161. 萩市民館 / 菊竹清訓建築設計事務所 / 1968年 / 山口
162. ポーラ五反田ビル / 日建設計 (林昌二) / 1971年 / 東京
163. 瀬戸内海歴史民俗資料館 / 香川県建築課 (山本忠司) / 1973年 / 香川
164. 福岡銀行本店 / 黒川紀章建築・都市設計事務所 / 1975年 / 福岡
165. 甲園ホテル (現・武庫川女子大学甲子園会館) / 遠藤新 / 1930年 / 兵庫 / 登録文化財
166. 御影町公会堂 (現・神戸市立御影公会堂) / 清水栄二 / 1933年 / 兵庫
167. 東大付属植物園本館 (現・小石川植物園本館) / 内田祥三 / 1939年 / 東京
168. 岩波熱海別邸 (借礫荘) / 吉田五十八 (改修 板垣元彬建築事務所) / 1941年 (改修 2011年) / 静岡
169. 今治市庁舎・公会堂・市民会館 (現・今治市庁舎本館・公民館・市民会館) / 丹下健三 / 1958年 (今治市庁舎・公会堂) 1965年 (市民会館) / 愛媛
170. 世田谷区役所・区民会館 (現・世田谷区役所第一庁舎・世田谷区民会館) / 前川國男 / 1959年 (世田谷区民会館) 1961年 (世田谷区役所) / 東京
171. 武蔵嵐山カントリークラブ (現・嵐山カントリー倶楽部) / 天野太郎研究室 / 1961年 / 埼玉
172. 倉敷国際ホテル / 倉敷建築研究所 (浦辺鎮太郎) / 1963年 / 岡山
173. 枚岡市庁舎 (現・東大阪市旭町庁舎) / 坂倉準三建築研究所大阪支所 (西澤文隆・東孝光) / 1964年 / 大阪
174. 広島基町・長寿園高層アパート (現・広島市宮基町第18・第19・第20アパート、広島県宮長寿園北高層住宅 1号館・南高層住宅 1号館・2号館) / 大江宏建築設計事務所 / 1969-78年 / 広島
175. 星製菓商業学校 (現・星薬科大学本館) / アントニン・レーモンド / 1924年 / 東京
176. 内藤多仲邸 (現・内藤多仲博士記念館) / 木子七郎 (構造設計: 内藤多仲、設計協力: 今井兼次) / 1926年 / 東京
177. 兵庫駅 / 鉄道省建築課 (伊藤滋) / 1930年 / 兵庫
178. 慶応義塾寄宿舎 (現・慶応義塾大学日吉寄宿舎) / 谷口吉郎 / 1937年 / 神奈川
179. 青森県立弘前中央高等学校講堂 / 前川國男 / 1954年 / 青森
180. 八幡市民会館 / 村野・森建築事務所 (村野藤吾) / 1958年 / 福岡
181. 常滑市立陶芸研究所本館 (現・とこなめ陶の森陶芸研究所) / 堀口研究室 (堀口捨己) / 1961年 / 愛知
182. 糸魚川善導寺 / 渡辺建築事務所 (渡邊洋治) / 1961年 / 新潟
183. 上野市庁舎 (現・伊賀市庁舎) / 坂倉準三建築研究所 / 1963年 / 三重
184. 加藤学園初等学校 (現・加藤学園暁秀初等学校) / 横総合計画事務所 (横文彦) / 1972年 / 静岡 (2015年6月時点)